

# 「第4回食育活動表彰」で 生活協同組合コープおきなわが 農林水産大臣賞を受賞しました



定置網体験ツアーで漁業体験する子どもたち



特産品販売を体験する大宜味中学校の生徒たち



3歳からの料理教室でサンドイッチを作る子どもたち

「食育活動表彰」は、農林漁業、食品製造・販売などの事業活動、教育活動又はボランティア活動を通じた食育関係者の取組を対象として、その功績を称えるとともに、その取組の内容を広く国民に周知し、食育を推進する優れた取組が全国に展開されていくことを目的として、農林水産省が実施しています。

食育とは、生きる上での基本であって、知育・德育・体育の基礎となるものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育むことです。

生活協同組合コープおきなわでは、食の大切さや食が多くの関係者により支えられていることを理解できるように、様々な取組を実施しており、子どもたちに生産から食卓などに上がるまで一連の流れを体験してもらう「定置網体験ツアーや「米づくりスクール」、子供から大人までの幅広い世代を対象とした「3歳からの料理教室」や「なごみキッチン（ゆし豆腐づくり）」などを開催しています。

また、中学生を対象に、学校や行政、生産者、地元企業など様々な関係者と連携し、地域の農林水産物を活用した

特産品開発を通じた総合学習の支援も行っています。中学生が自ら地域の歴史や特徴、産業の課題や農林水産物の特性を発見し、特産品販売を通じて地域の魅力を発信することで、地域の「誇りづくり」の醸成につなげています。このような地域づくり・人づくり、地域の「誇り」創り、食文化の継承といった取組が高く評価され、教育関係者・事業者部門の食品製造・販売者などの取組として、食育活動表彰で最高賞の農林水産大臣賞に輝きました。なお、同表彰における農林水産大臣賞受賞は県内初となります。